

誰かの政治から 私たちの政治へ



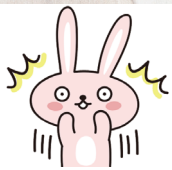
Website

いのちの党 西宮市議会議員

佐野ひるみ

1977年生まれ、枝川町在住。就職氷河期世代。米国ポートランド州立大学卒業後、アメリカの医療少年院勤務を経験し、戦争や社会課題と向き合う原点となる。「市民の声を聞く」をモットーに活動を行い、市議会で積極的に発言。家族は夫と大学生の娘。UR浜甲子園団地自治会理事。グリーンコープ総代。好きな言葉は賃上げと減税。

どの地域の方もいつでもご相談ください。sano@sanohiromi.com



全国ワースト 13 位！育成センターの待機児童解消へ まずは 1 年生の優先入所を前進！



待機児童について切実な声が私の元に寄せられました。

【保護者①】「校内の育成センターに入れず、徒歩10分の民間施設に通っています。入学直後の小さな体で重い荷物を背負い、猛暑の中の移動は心配でした。せめて1年生の間だけでも、校内で安心して過ごさせてあげたかった。」

【保護者②】「夏休みの預け先を探すも、民間の学童は月7万円以上かかることもあり、家計への負担が重すぎる。公的な居場所の確保を強く願っています。」

西宮市の待機児童の現状（令和8年5月1日時点）について調べたところ、西宮市の育成センターの待機児童数は、令和7年においては218人にのぼり、全国ワースト13位でした。令和8年も190人もおり、高い水準が続いていることが判明しました。（全国ワースト順位は未発表です。）特に問題なのは、入学直後である1年生の待機児童が26人もいる点です。

全学年での解消が必要ですが、国の通知でも「小1の壁」打破が喫緊の課題であると言及されていることから、今回は1年生の待機児童について、一般質問を行いました。例えば、岡山市では、利用申請時の点数計算において、学年による加点を大きく設定し「1年生を絶対に待機児童にしない」強い仕組みを導入しています。一方、本市は保護者の就労時間等を重視する仕組みとなっています。

Q 岡山市のように1年生が優先的に入所できる仕組みの導入を検討する考えはあるか？

A ご提案の趣旨を踏まえ、1年生が優先的に利用できるよう、加点の拡充について検討を進めていく。

【佐野の意見】 R9年度の導入を要望しました。共働きが当たり前となった今、子育てを家庭内だけで抱え込めば、保護者が精神的に追い詰められてしまいます。時代に合わせた子育て環境のアップデートは必要不可欠。子育て世代を悲しませない街を、つくっていきましょう！

議会質問 会計年度任用職員にも「小1の壁」対策を！ （会計年度任用職員＝非正規雇用職員です）

本市では正規職員を対象に、小1修了まで1日最大2時間の勤務時間短縮を実施していますが、会計年度任用職員は対象外です。しかし「小1の壁」に直面するのは正規職員も会計年度任用職員も同じ。1年生になったばかりは、忘れ物の確認など家庭でのフォローが必要だったり、保育園よりも下校時間が早まったりで、保護者は対応に四苦八苦します。

Q 会計年度任用職員にも勤務時間短縮の措置を講じるよう求めます。

A 早期の導入も含めて検討を進めていく。



【佐野の意見】西宮市で働く職員の約4割を占める会計年度任用職員は、学校給食・保育・児童館・図書館など、市民生活に不可欠な現場を支えています。正規・非正規の雇用形態に関わらず、子育ての負担はどの親も同じ。雇用形態の違いによる格差を是正しよう！

お知らせ

れいわ新選組は【いのちの党】へ党名変更しました。今後も変わらず全て人が胸を張って人生を歩めるよう、誰一人取り残さない社会の実現に向けて力を尽くします。

なお、西宮市議会において、所属政党は【いのちの党】所属会派は無所属となります。

議会質問 家庭での性教育をサポート 新たなブックリスト作成・ブックフェア開催へ

スマホを通じて歪んだ性の情報が溢れています。また子どもへの性暴力に関する報道も後を絶ちません。芸能事務所の性暴力事案などでも明らかになったように、男児であっても被害に遭うリスクはあり、保護者の不安は尽きません。予期せぬ被害から身を守るために、子どもが自分の体やプライバシーを知ることがとても大切です。しかし家庭では「どう伝えていいかわからない」と悩む保護者も少なくありません。

Q 市が配布する乳幼児向け絵本リストで、性教育の視点を取り入れた絵本を紹介してはどうか？

A 多様な本を手にとれるよう、幅広い年齢層を対象とした新たなブックリストの作成や、ブックフェアの開催を検討していく。

【佐野の意見】 残念ながら学校の性教育には「はだめ規定」があり、性交や妊娠の経過などを授業で詳しく扱わない現状があります。それだけに、家庭での性教育はとても大切です。いのちや体、お互いの尊厳について、絵本を通じてみんなで一緒に考えていきませんか？誰もが正しく学べる環境づくりの実現に向けて、引き続き取り組みます。



政策実現 税金で行われる検査結果は市民のものだぞ！ 水道水のPFAS検査結果を公表へ (ピーファスと読みます)

西宮市はこれまでPFASのうち「PFOS」「PFOA」の2種類のみ数値を公表していましたが、市が独自に測定している「要検討PFAS」についても公表するよう、佐野が令和8年3月の一般質問で求めました。その結果、7月に検査結果の公表が実現しました。今後も積極的な情報公開を求めていきます！

【用語解説】 PFASとは、水や油をはじく、熱に強い、分解されにくい、といった有機フッ素化合物の総称。1万種類以上あり、環境中で分解されにくいため「永遠の化学物質」とも呼ばれ健康への影響が懸念されています。フライパンのフッ素加工や消火剤に使用され、沖縄では米軍基地周辺の河川や地下水から高濃度のPFASが検出され、大きな問題となっています。

皆さんの声をもとに議会質問を作成しています

3・6月議会では、脊柱側弯症検診の検査機器の導入、ゴミ袋の有料化の市民負担、SC21の熱中症対策、放課後等デイサービスの「習い事化」の実態、介護従事者を暴力やハラスメントから守る市の対応などを質問しました。課題が多岐に渡り、時に心が折れそうにもなりますが、「あなたに相談してよかった。これからも頑張ってるね。」という声に励まされています。政治は暮らしを作ります。議員を利用してあなたの声を議会に届けましょう。あきらめず、少しでも政治に興味を持って頂ければ嬉しいです！

6月議会 あなたの声は議会に届いていますか？ 介護の危機を訴える市民請願、1票差で不採択

6月議会では、介護従事者の方々から「利用者負担増の中止」「介護報酬・賃金の引き上げ」「国庫負担割合の拡大」を求める請願が提出されました。審議当日には、利用者を朝のデイサービスへ送り出し、忙しい業務の合間を縫って議会へ駆けつけたヘルパーさんの姿もありました。現場からの切実な訴えが寄せられたものの、採決の結果、1票差で不採択となりました。

採択（賛成）：佐野、市民クラブ、共産党、一色、村上、よつや
不採択（反対）：維新、公明党、ぜんしん、啓誠会

【用語解説】請願とは、市議会に直接要望や意見がある時に住民が活用できる制度です。住民の代表である市議会は、寄せられた声を真摯に受け止め、議論を尽くして賛否の意思表示を行います。

【佐野の意見】介護職の尊厳と処遇を守るとは、市民が安心して老いる権利を守ることです。私は介護職への敬意も込め、本議案に賛成しました。今回の不採択は議会の市民感覚の欠如を露呈させたものであり、憤りを感じます。当事者の声がまっすぐに届く議会へ！

要望書提出 伊丹空港・神戸空港の「軍事利用」はやめて！

10年前の安保法制成立以降、じわじわと進む軍事化の動きは、伊丹空港に近い西宮市にとっても他人事ではありません。米軍が出撃や補給をする拠点を、日本国内に確保・提供させたい国は、伊丹空港を自衛隊が平時から利用できるよう検討しています。国際法上、空港がひとたび軍事利用されれば、「軍事目標」とみなされ、攻撃対象になり得るとされています。

国の資料を見ると、全国で軍事利用できる空港・港湾が増加しています。インフラ整備も進むため、関連企業は儲かりますが、私達に待っているのはさらなるインフレ、増税、攻撃リスクです。

軍事拠点はどの街にも不要であり、国家間問題は外交を通じて丁寧に解決すべきです。市長にも関連する協議会において議論を深めるよう要望しました。



佐野ひろみは「市政報告会」を議会ごと開催しています。どなたでもお気軽にご参加ください。



Facebook



X



Instagram